



根堀台だより

平成29年4月26日

第 12 号

校訓「進歩(文)」「健康(武)」「協力(道)」

悔しさを総体に 春季大会報告会



テニス部主将○さん



野球部主将○○さん



バレー部主将○○○さん



剣道部主将○○さん

4月26日(水)の朝、「春季大会報告会」を行いました。今回の試合結果の報告と大会を通して学んだことや反省について各部活のキャプテンが代表して語ってくれました。

テニス部は「緊張感やプレッシャーに負けないよう、声を出して気持ちを盛り上げていきたい。」、サッカー部は「今

回の悔しさを、由利中サッカーができるように、次の試合につなげていきたい。」、野球部は「経験を積んで一日でも長く野球ができるよう、野球以外の他のものにも真剣に取り組んでいきたい」、剣道部は「自分たちの弱点が見つかったので、次の大会までスピードを付けていきたい。」、バレーボール部は「今回の大会でベスト4に入ったものの、まだ足りないものばかりなのでこれからの練習で力を付けていきたい。」、ソフトボール部は「いつもならやれることが試合ではできなかった。反省を生かして県大会に臨みたい。」と総体に向けての抱負を語ってくれました。

また、「緊張で固まってしまった。」、「ミスが失点につながった。」、「エラーが目立つ。」、「大事なところでミスしてしまう。」、「ペースを乱される。」など、精神的な面の弱さで力を出し切れなかったという反省がどの部でも見られました。

後2ヶ月に迫った総体までには、各自が特に、心・技・体の「心」の部分鍛えていく必要があります。そして、その解決策については、子どもたちなりに分かっているようでした。しかし、「言うは易く行うは難し」です。とまかくこれからは一日一日を大切にして、実行することを心がけていきましょう。

春季大会報告会でのお話

春季大会ご苦労様でした。ソフトボール部は全県大会出場おめでとう。よく頑張りました。来月の県大会では本荘由利の代表としてしっかり頑張ってきて下さい。また、バレーボール部は第3位入賞おめでとう。次はもう一つ上を目指して頑張ってください。

さて、皆さん。この春季大会では自分自身やチームにとって「ベストゲーム」と言える試合があったでしょうか。しかし、「ベストゲーム」のあるなしにかかわらず、どの部も今決して満足していないことだと思います。悔しさの方が大きいのではないのでしょうか。

試合に負ければ誰だって悔しいのです。ただ悔しいだけでは、自己の向上を図ることはできないのです。勝つためにはもっと具体的な何かを見つけなければなりません。例えば、優勝したチームや選手と比べて、今の自分たちに欠けていたものが何だったのか見えたとしたら、それをこれからの練習に活かしていけるとと思います。それが見付かった試合なら「ベストゲーム」と読んでもいいのではないのでしょうか。今一度監督の先生と一緒に考えながら、是非とも次の目標にしてほしいものです。

私はこれまで色々な競技で、沢山の試合を見てきました。そしてあることに気づきました。確かに強いチームは勝ちます。でも、才能あるメンバーが豊富で、技術も高く、経験も豊かな「強いチーム」が負ける姿も度々見ました。強いチームが必ず勝つわけではないのです。それなら、「油断したから」「なめてかかったから」「調子が悪かったから」というのが負けの原因なのでしょうか？

部活動の勝ち負けは、才能や能力、練習の質や量だけで決まるわけではありません。試合になれば誰でも緊張します。緊張のために、もっている力を出せないで終わる人やチームもいます。いつ、いかなる時でも「平常心」で戦える人は、「普段の生活をきちんとおくれる人」であり、だからこそ「自分のもっている力を十分に発揮できる人」なのです。「当たり前のことを、当たり前にかちんとやること」が大切なんです。

今回1年生のほとんどの人が試合には出なかったのですが、試合に出なくても先輩たちに一生懸命、声の限りに応援することができたという人は手を上げてみて下さい。

それなら、試合終了後、後輩たちやお父さんの応援に対して心から感謝の言葉を贈ることができた人は、手を上げてみて下さい。

総体の時には、ここにいる全員が手を上げられるようにしたいものです。

また、部活動以外、毎日の生活の中で、勉強でも、生活でも、これぐらいならいいやと手抜きをしていませんか？

嫌なことや苦手なことを後回しにしたり、疲れているからとか、先生が見ていないからといって、時にはさぼったりしていませんか？

私たちの体を支え、体を動かしているのは心です。皆さんの心は大丈夫ですか？心は弱くないですか？試合で一番苦しい時、追い込まれた時、絶体絶命のピンチの時、最後は「心の強さ」が勝負を決めます。体は練習で鍛えることができます。心は普段の生活の中で鍛えられていくものです。

3年生にとって、これから総体までの2ヶ月間は中学校3年間で最も厳しい時期となります。勉強もしなければなりません。委員会活動でも行事でも、部活でも、学校の中心となって頑張らなければなりません。でも、この苦しさがみんなの心を鍛え、育ててくれるのです。

3年生は最後の総体を飾るために、部活動の練習だけでなく、「普段の生活をきちんとすること」を是非心がけ、実行して下さい。1・2年生は3年生の最後の夏を輝く夏とすることができるように、しっかりと支えていって下さい。

今週末は運動会もあります。当日はご来場される沢山の皆さんに「チーム由利中 心ひとつに」「夢あきらめない」姿を是非示したいものです。みんなで頑張りましょう。